

## 1 題材について

対 象 学 年	小学校 第5学年
学 習 指 導 要 領	第5学年及び第6学年の内容 (1)エ (3)ア、イ、ウ
題 材 名	「ミシンに挑戦しよう！」(全11時間)
題 材 目 標	<p>布を用いた生活に役立つ物の製作に関心をもち、製作した物を家庭生活の中で活用することができる。(家庭生活への関心・意欲・態度)</p> <p>家族の生活に役立つように、製作物、大きさ、形、材料、縫い方を自分なりに工夫することができる。(生活を創意工夫する能力)</p> <p>目的に応じた縫い方、ミシンの使い方、ミシンでの直線縫いのし方などの技能を身に付けることができる。(生活の技能)</p> <p>製作に必要な用具の安全な取扱い方や縫い方がわかり、製作手順を理解することができる。(家庭生活についての知識・理解)</p>
配 慮 事 項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫 題材指導計画の工夫</p> <p>生活の基本は家庭である。児童が主体的に家庭生活に関わり、家庭生活をよりよくしていこうとするためには、自分の生活を見つめることが大切である。その中からよりよい生活への願いをもち、願いの実現のためには、基礎的・基本的な内容の確実な定着が必要となる。そこで、下記の点に留意して、指導計画を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題材を設定するにあたっては、児童の願いをもとに学習の意識・意欲の流れを大切にする。</li> <li>・意欲的に問題解決的な学習ができるように、家庭生活を見つめ、そこから課題をもてるようにする。</li> <li>・指導計画を作成するにあたっては、本校が小規模で、児童数が少ないという実態に応じた工夫をする。</li> <li>・試作の段階を位置付けることにより、製作に必要な材料や用具の取扱い方、縫い方などがわかり、製作手順や見通しをもって取り組むことができるようにする。</li> </ul> <p>単位時間における工夫</p> <p>毎時間、児童が課題をもって取り組めるよう学習活動を仕組み、基礎的・基本的な内容が定着するようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個性を生かした主体的な製作学習の実現のために、課題を明確にし、課題に対する児童の自己評価と教師の評価を生かすようにする。</li> <li>・家庭実践を位置付けることにより、主体的に家庭生活にかかわり、家族とのかかわりや触れ合いの時間を設定するようにする。</li> </ul>
参 考 資 料	<p>資料1：学習を進めるに当たっての保護者への依頼文書</p> <p>資料2：第1時学習プリント...家庭取材、ミシンぬいの秘密</p> <p>資料3：第2～4時学習プリント...ミシンの基本操作チェック表</p> <p>資料4：第5～10時学習プリント...製作計画・記録表</p> <p>資料5：第11時学習プリント...作品づくりの振り返り</p> <p>資料6：題材の評価総括表</p> <p>資料7：単位時間の評価表</p>

2 題材の評価規準

	ア 家庭生活への関心・意欲・態度	イ 生活を創意工夫する能力	ウ 生活の技能	エ 家庭生活についての知識・理解
内容のまとめりごとの評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭生活に関心をもち、家庭の仕事をしたり、家族との触れ合いをもったりしようとしている。(1)</li> <li>・布を用いた生活に役立つ物の製作に関心をもち、製作し、活用しようとしている。(3)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭生活を見直し、家庭の仕事や家族との触れ合いについて考えたり、自分なりに工夫したりしている。(1)</li> <li>・布を用いた生活に役立つ物の製作について考えたり、自分なりに工夫したりしている。(3)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の仕事を分担したり、家族との触れ合いをもったりすることができる。(1)</li> <li>・布を用いた生活に役立つ物の製作に関する基礎的な技能を身に付けている。(3)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の仕事や家族との触れ合いを通して、家庭生活や家族について理解している。(1)</li> <li>・布を用いた生活に役立つ物の製作に関する基礎的な事項について理解している。(3)</li> </ul>
題材の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作物を通して、家族との触れ合いをもとうとしている。</li> <li>・生活に役立つ物を布を用いて製作することに関心をもっている。</li> <li>・製作する楽しさや活用する喜びを味わおうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭生活での布の活用を見直し、製作物、大きさ、形、材料、ミシンの縫い方を考えたり、自分なりに工夫したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作物を活用しながら、家族との触れ合いをもつことができる。</li> <li>・布を用いて製作する物の製作計画を立てることができる。</li> <li>・ミシンの直線縫いを用いて、生活に役立つ物を作ることができる。</li> <li>・製作に必要な用具を安全に取扱うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作物を通して、家族との触れ合いを理解している。</li> <li>・製作に必要な材料や用具がわかり、製作手順や時間の見通しを理解している。</li> <li>・ミシンの使い方、直線縫いの仕方を理解している。</li> <li>・製作に必要な用具の安全な取扱い方を理解している。</li> </ul>
単位時間における具体的評価規準	<p>家庭生活での布の活用について見直し、ミシン縫いのよさについて関心をもち、進んで調べたり試したりしている。</p> <p>生活に役立つ物を布を用いて製作する楽しさや活用する喜びを味わおうとしている。</p>	<p>家庭生活での布の活用について見直し、製作物の大きさや形、材料、ミシンの縫い方を工夫することができる。</p> <p>布にあった、ミシンの直線の縫い方を工夫することができる。</p>	<p>家庭生活での布の活用について見つめ、家族や自分の願いにあった製作物を選ぶことができる。</p> <p>布を用いて製作する物の製作計画を立てることができる。</p> <p>ミシンを用いて、直線縫いをすることができる。</p> <p>裁縫道具、ミシン、アイロンの正しい取扱い方ができる。</p>	<p>ミシンの仕組み、上糸のかけ方、下糸の入れ方、糸調節の仕方などを理解している。</p> <p>製作に必要な材料や用具、製作手順を理解している。</p> <p>裁縫道具、ミシン、アイロンの正しい取扱い方を理解している。</p> <p>製作物を通して、家族との触れ合いがもてることを理解している。</p>

3 指導と評価の計画（全11時間）

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準	評価方法	指導・援助
<p>【家庭実践その1：「ミシン縫い調べ」】</p> <p>指導の場 ・第1時の学習前の家庭科の授業 ・帰りの会</p> <p>内 容 ・次に学習する内容について概要を説明する。 ・今までのミシン使用の経験について調べる。 ・手縫いとミシン縫いを提示し、ミシン縫いを理解させ、家のどんなところで、ミシン縫いが使われているか調べてくることを知らせる。 ・調べ方と記録の仕方を学習プリント（取材ノート）を配布して説明する。</p> <p>活 用 ・学習プリント（取材ノート）を事前に提出させ、学級の実態を把握しておく。 ・取材結果については、第1時の交流で活用する。</p>					
1	<p>同じ縫い幅で、速く丈夫に縫えるミシン縫いのよさや、ミシンのから縫いを通して、運針の楽しさがわかり、ミシン縫いへの関心をもつことができる。</p>	<p>家の中で、どんなところでミシン縫いが使われているか、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが着ている物</li> <li>・カーテン</li> <li>・布で作られた物のほとんど</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ミシン縫いの秘密をさぐろう！</p> </div> <p>手縫いとミシン縫いを比べてみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・縫い幅が正確</li> <li>・まっすぐ</li> <li>・丈夫</li> </ul> <p>簡単な操作方法を知り、ミシンを動かしてみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙を使って、から縫いの練習をする。</li> </ul> <p>ミシン縫いの秘密をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・速く縫える。</li> <li>・丈夫</li> <li>・同じ縫い幅で縫える。</li> </ul> <p>課題に対する自己評価をする。</p>	<p>ア - 家庭生活での布の活用について見直し、ミシン縫いのよさについて関心を持ち、進んで調べたり試したりしている。</p>	<p>学習プリント（取材）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の中のミシン縫いが使用されている物が記入されている。</li> </ul> <p>発言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べてきたことを進んで発表している。</li> </ul> <p>学習態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミシンの縫い幅やスピードを変えたり、返し縫いをしたりしながら運針をしている。</li> </ul> <p>発言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミシンのよさ 秘密を発表している。</li> </ul> <p>学習プリント（感想）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミシン縫いへの関心が記入してある。</li> </ul>	<p>発言できない児童に対して、取材ノートの活用や自分の着用している服を見るように促す。</p> <p>手縫いの布を用意し、ミシン縫いと比較して考えられるようにする。</p> <p>1人1台のミシンを用意し、じっくり関わる時間を確保する。</p> <p>ミシンの基本操作を教師が示範した後、児童が動かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンセントのつなぎ方</li> <li>・スイッチ類の操作の仕方</li> <li>・縫い始め、縫い終わりの仕方</li> </ul> <p>机間巡視し、ミシンがうまく動かせない児童には、個別指導に当たる。</p>

【家庭実践その2：「わが家のミシン調べ」】

指導の場 ・第1時の家庭科の授業の終末  
・帰りの会

内 容 ・次に学習する内容について概要を説明する。  
・わが家のミシンはどうか調べてくることを知らせる。  
・調べ方と記録の仕方を学習プリント（取材ノート）を配布して説明する。

活 用 ・学習プリント（取材ノート）を事前に提出させ、学級の実態を把握しておく。  
・取材結果については、第2時の交流で活用する。

2 ・ 3	ミシンの使い方、直線縫いの仕方がわかり、直線縫いができる。	<p>家庭のミシンについて交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のミシンと同じだった。</li> <li>・機能がいろいろ付いていた。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ミシンの使い方を知ろう！</div> <p>ミシンの使い方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・針のつけ方</li> <li>・速さ調整の仕方</li> <li>・下糸の巻き方、取り付け方</li> <li>・下糸の出し方</li> <li>・上糸のかけ方</li> <li>・縫い始めの仕方</li> <li>・糸調節の仕方</li> <li>・方向転換</li> <li>・縫い目の大きさ変換</li> <li>・縫い始めと縫い終わりの糸の始末の仕方</li> <li>・返し縫いの仕方</li> </ul> <p>自己評価をし、後片づけをする。</p>	エ - ミシンの仕組み、上糸のかけ方、下糸の入れ方、糸調節の仕方などを理解している。	ミシンの基本操作チェック表 ・すべての項目にチェックができています。	家庭のミシンについて関心をもたせる。  ミシンの基本操作チェック表を一人一人もたせる。 机間巡視し、できていない項目について個別指導に当たる。
4	ミシンの使い方、直線縫いの仕方がわかり、台ふきをぬうことができる。	<p>ミシンの使い方、縫い方を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・針のつけ方</li> <li>・速さ調整の仕方 など</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">台ふきをぬってみよう！</div> <p>直線縫いで、台ふきを縫う。</p> <p>自己評価をし、後片づけをする。</p>	エ - ミシンの仕組み、上糸のかけ方、下糸の入れ方、糸調節の仕方などを理解している。	ミシンの基本操作チェック表（2回目） ・すべての項目にチェックができています。	掲示を活用して前時の復習をする。  布は、さらしを配布し、四つ折りにして使用する。糸は、縫い目がわかるように色糸を使う。理解できない児童には個別指導する。

【家庭実践その3：「生活に役立つ物を考えよう」】

指導の場 ・第3時の家庭科の授業の終末  
・帰りの会

内 容 ・次に学習する内容について概要を説明する。  
・わが家の生活に役立つ直線縫いを生かしてできる物を家族と相談してくる。  
・作りたい物の大きさ、形を調べてくる。

- ・調べ方と記録の仕方を学習プリント（取材ノート）を配布して説明する。
- 活用 ・取材ノートを事前に提出させ、学級の実態を把握しておく。
- ・取材結果については、第5時の交流で活用する。

5	<p>自分が作りたい布を使った生活に役立つ物について、製作計画を立てることができる。</p>	<p>自分の作りたい物を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレにペーパーホルダーがないので、ホルダーを作りたい。</li> <li>・電話にほこりがかかるので、電話カバーを作りたい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分の作りたい物の製作計画を立てよう！</p> </div> <p>布を使って製作計画を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の作りたい物の作り方を調べる。</li> <li>・型紙を作る。</li> <li>・ぬいしろをつけて布を裁つ。</li> <li>・しるしをつける。</li> <li>・布はしの始末をする。</li> <li>・ミシンで縫う。</li> <li>・アイロンをかける。</li> </ul> <p>製作に必要な物を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・布、糸、裁縫道具</li> </ul> <p>課題に対する自己評価をし、後片づけをする。</p>	<p>ウ - 家庭生活での布の活用について見詰め、家族や自分の願いにあった製作物を選ぶことができる。</p> <p>ウ - 布を用いて製作する物の製作計画を立てることができる。</p>	<p>学習プリント（取材）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製作物やそれを選んだ根拠 願いが書いてある。</li> </ul> <p>学習プリント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製作計画を自分の製作物に合わせた手順で立て書けている。</li> </ul>	<p>事前に、保護者へ製作物についてのお願ひ文書を配布し、依頼しておく。</p> <p>実物より小さい布を配布し、それを活用し、製作手順を考えさせる。ミシンで縫うところを明らかにさせる。</p>
---	--	--	--	--	---

【家庭実践その4：「生活に役立つ物を作ろう」】

- 指導の場 ・第5時の家庭科の授業の終末
- ・帰りの会
- 内 容 ・次に学習する内容について概要を説明する。
- ・製作に必要な材料を用意してくる。
- ・製作計画プリントを配布して説明する。
- 活 用 ・製作に必要な材料を用意できているか、事前に確認しておく。

6	<p>実物大の型紙を作り、それに合わせて布を裁ち、必要なしるしを付けることができる。</p>	<p>自分の願いを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレを明るくするために、トイレトペーパーホルダーにして、家族が喜ぶようにきれいに作りたい。</li> </ul> <p>本時の願いを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいに型紙を作りたい。</li> <li>・しっかり布を裁ちたい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>丁寧にしるしつけをやりよう！</p> </div> <p>製作計画に従って製作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・型紙を作る。</li> <li>・布を裁つ。</li> </ul>	<p>イ - 家庭生活での布の活用について見直し、製作物の大きさや形、材料、ミシンの縫い方を工夫することができる。</p> <p>ウ - 裁縫道具、ミシン、ア</p>	<p>学習プリント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に合わせた製作物 大きさ、形が工夫して書けている</li> </ul> <p>準備物 聞き取り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製作物にあった布を選んでいる。</li> </ul> <p>製作の態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものさしを使い、形に</li> </ul>	<p>製作物の大きさや形などについて記入できるようになった学習プリントを活用する。</p> <p>布選びの理由を明らかにさせ、評価する。</p> <p>机間巡視し、製作で困っている児童には、個別</p>
---	--	--	---	---	---

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・しるしをつける。</li> </ul> <p>課題に対する自己評価をし、後片づけをする。</p>	<p>アイロンの正しい取扱い方ができる。</p>	<p>あった寸法の型紙を作っている。 製作物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製作物にあった縫い代をとり、布を裁っている。</li> </ul>	<p>指導に当たる。</p>
7	<p>製作物や布に合わせて布はしの始末をすることができる。</p>	<p>前時の学習(製作)を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・型紙作り</li> <li>・布裁ち</li> <li>・しるしつけ</li> </ul> <p>本時の願いを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいに始末したい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>はしを同じ幅で始末しよう！</p> </div> <p>布のはしの始末をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイロンかけの仕方の説明</li> <li>・アイロンをかける。</li> <li>・しつけ糸でぬう。</li> </ul> <p>課題に対する自己評価をし、後片づけをする。</p>	<p>イ - 家庭生活での布の活用について見直し、製作物の大きさや形、材料、ミシンの縫い方を工夫することができる。</p> <p>ウ - 裁縫道具、ミシン、アイロンの正しい取扱い方ができる。</p>	<p>製作物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製作物の形にあったはしの始末をしている。</li> <li>製作の態度</li> <li>・アイロンの正しい使い方ができている。</li> </ul>	<p>机間巡視しながら、製作で困っている児童には、個別指導に当たる。</p> <p>アイロンのかけ方、しつけの仕方を教師が示範する。</p> <p>つまずいている児童には、へらやまち針でのしつけの仕方を示範する。</p>
8 本時	<p>ミシンで直線をまっすぐ縫うためにはミシンの針の正面にまっすぐ座ること、針の真下にしるしがくること、手で布を軽く押さえること、ゆっくり縫うことの4つのポイントがあることを理解してまっすぐ直線を縫うことができる。</p>	<p>製作するにあたって、ミシン縫いに対する願いを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族が使うのできれいに縫いたい。</li> <li>・みんなが見るので、まっすぐに縫いたい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>まっすぐ縫うためのコツを身に付けよう！</p> </div> <p>まっすぐ縫うためのポイントを考える。</p> <p>ミシン縫いのポイントから今までの自分を振り返り、まっすぐに縫いに挑戦する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1次に使用したから縫いの紙と台ふきから考える。</li> <li>・布を使い縫ってみる。</li> </ul>	<p>ウ - ミシンを用いて、直線縫いをすることができる。</p>	<p>製作の態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まっすぐ縫うためのポイントを理解して、取り組んでいる。</li> <li>児童の相互評価</li> <li>・4つのポイントに気を</li> </ul>	<p>児童がコツを見付けられないときは、教師が示範し、それを見てコツを見付けさせる。</p> <p>机間巡視しながら、コツを見つけた児童を価値付けしていく。</p> <p>コツを生かして縫えている児童の価値付けをす</p>

		<p>まっすぐ縫うコツを生かして、生活に役立つ物をまっすぐに縫う。</p> <p>課題について自己評価し、後片づけをする。</p>		<p>付けながら直線をまっすぐに縫えている。</p> <p>児童の自己評価</p> <p>・まっすぐに縫えている</p>	<p>る。</p> <p>まっすぐ縫えたことを児童が確かめられるよう定規等を準備する。</p>
9 ・ 10	<p>手縫い、ミシン縫いなど縫う箇所に合わせた縫い方を工夫しながら糸の始末、アイロンかけをして作品を仕上げることができる。</p>	<p>本時の願いを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族が使うのできれいに仕上げたい。</li> <li>・いつまでも使えるように上手に縫いたい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>最後まで丁寧に仕上げよう！</p> </div> <p>製作計画に沿って、作品を仕上げよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直線縫い</li> <li>・模様つけ</li> <li>・糸の始末</li> <li>・アイロンかけ</li> </ul> <p>課題について自己評価し、後片づけをする。</p>	<p>イ - 布にあったミシンでの直線の縫い方を工夫することができる。</p> <p>エ - 製作に必要な材料や用具、製作手順を理解している。</p> <p>エ - 裁縫道具、ミシン、アイロンの正しい取り扱い方を理解している。</p>	<p>製作の態度 製作物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の願いや布にあわせて、縫い方を工夫している。</li> </ul> <p>製作の態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に沿って、次にやることわかり製作をしている。</li> </ul> <p>教師の取り扱いチェック表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チェック表のすべての項目が達成できる。</li> </ul> <p>児童の取り扱いチェック表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チェック表の全ての項目にがつく。</li> </ul>	<p>製作物と同じ布で、試し縫いをしてから、本縫いをさせる。</p> <p>机間巡視しながら、一人一人に製作手順を確認させる。</p> <p>机間巡視しながら、正しい取り扱いができていない児童を価値付けする。正しく取り扱いをしていない児童には個別指導に当たる。</p>

【家庭実践その5：「生活に役立てよう」】

指導の場 ・ 第10時の家庭科の授業の終末

- ・帰りの会
- 内容 ・作った物を家で活用し、家族の声をインタビューしてくる。
- ・学習に使ったプリントを提示しながら説明する。
- 活用 ・学習プリントを事前に提出させ、学級の実態を把握しておく。
- ・インタビュー結果については、第11時の交流で活用する。

家庭との連携

- ・事前に家庭通信で家庭科の学習内容などについて連絡し、家庭の協力が得られるように体制をつくっておく。
- ・保護者に協力を求め、児童が作った物の活用の様子の写真撮影、活用しての感想などを記述してもらうようにしておく。

<p>11</p>	<p>自分の作った作品や家庭での活用状況や家族の感想を紹介し、製作物を通して家族との触れ合いがもてることわかる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>製作した作品がどのように役立っているか交流しよう！</p> </div> <p>自分の作った物を、みんなで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活用の状況</li> <li>・家族の声</li> <li>・製作しての感想</li> <li>・友達の感想</li> </ul> <p>製作した物を活用することでの家庭生活の変化を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが喜んで活用していて生活が明るくなった感じ。</li> <li>・家族との会話が増えた。</li> </ul> <p>学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミシンで直線縫いができるようになってよかった。家のミシンでもやってみたい。</li> <li>・家族に喜んでもらえて嬉しかった。また、ちがう物を作りたい。</li> </ul>	<p>ア -</p> <p>生活に役立つ物を布を用いて製作する楽しさや活用する喜びを味わおうとしている。</p> <p>エ -</p> <p>製作物を通して、家族との触れ合いがもてることを理解している。</p>	<p>発言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の作品の紹介の中で、活用の状況や家族の声、感想を進んでみんなに伝えている。</li> <li>学習プリント</li> <li>・製作物を通して家族や家庭生活の変化を、見付けることができている。</li> </ul>	<p>活用の状況や家族の声、感想などについて記入できるようになった学習プリントを活用する。一人一人の発表や友達を認める姿に対しても価値付けする。家族の声の中に家庭の中での生活の変化について記入してもらうようにし、それを手がかりに見付けさせる。</p>
-----------	--	---	---	---	---



4 単位時間の授業展開例

(1) 本時のねらい

ミシンで直線をまっすぐ縫うためには、ミシンの針の正面にまっすぐ座ること、針の真下にしるしがくること、布を手で軽く押さえること、ゆっくり縫うことの4つのポイントが分かり、まっすぐ直線を縫うことができる。

(2) 本時の位置

8 / 11 時

(3) 展開案

進	学 習 活 動	評価について	指導・援助
つ か む / 追 求 す る / 振 り 返 る	<p>製作するにあたって、ミシン縫いに対する願いを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族が使うので<u>きれいに縫いたい</u>。</li> <li>・みんなが見るものなので、<u>まっすぐに縫いたい</u>。</li> </ul> <p>まっすぐ縫うためのコツを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・針棒の正面にまっすぐ座る</li> <li>・布を軽く押さえながら送る</li> <li>・針の真下にしるしをあわせる</li> <li>・ゆっくり縫う</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>まっすぐ縫うためのコツを身に付けよう！</p> </div> <p>ミシン縫いのポイントから今までの自分を振り返り、まっすぐ縫いに挑戦する。</p> <p><b>方法1</b> 第1時に使用したから縫いの紙と台ふきから考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆっくりぬった。</li> <li>・手を置いて縫った。</li> </ul> <p><b>方法2</b> 布を縫って身に付ける</p> <p>まっすぐ縫うコツを生かして生活に役立つ物を直線で縫う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製作物の直線縫いをする。</li> </ul> <p>課題について自己評価し、後片づけをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の作品を振り返り、評価する。</li> </ul>	<p>アー</p> <p>生活に役立つ物を布を用いて製作する楽しさを味わおうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前準備 ミシンに上下糸が通してある。</li> <li>・発言 自分の願いがもてている。</li> </ul> <p>ウ-</p> <p>ミシンを用いて、直線縫いをすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習態度 まっすぐ縫うためのポイントを理解して、取り組んでいる。</li> <li>・児童の相互評価 4つのポイントに気をつけながら、直線をまっすぐに縫えている。</li> <li>・児童の自己評価 まっすぐに縫えた。</li> </ul>	<p>製作にあたっての自分の願いを確認し、思いを大切に、課題につなげる。</p> <p>今までの学習の中から、大切なことを考えさせる。</p> <p>児童がコツを見付けられないときは、教師が示範し、それを見てコツを考えさせる。</p> <p>まっすぐ縫う4つのポイントを板書し、確認する。</p> <p>第1時に使用したから縫いの紙と台ふきを実際に手に取らせその時の様子を想起させ考えさせる。</p> <p>机間巡視し、コツに気を付けながら縫っている児童を価値付ける。</p> <p>ペアになり、お互いにできているか、相互評価させる。</p> <p>コツを生かして縫えている児童を価値付ける。</p>

## 5 評価の実際と個に応じた指導事例

### (1) 本時重点的に取り上げた評価規準

ウ-

ミシンを用いて「針棒の正面にまっすぐ座る」「布を軽く押さえながら送る」「針の真下にしるしを合わせる」「ゆっくり縫う」の4つのこつを意識して直線縫いをすることができる。

### (2) 評価の実際

#### 【評価の方法】

本時は、生活に役立つ物を縫うために必要な、ミシンの直線縫いを習得する授業である。児童は前時まで、ミシンの扱い方を習得するために、ミシンで台ふきを縫っている。しかし、まっすぐ縫うことを意識して学習してきていないので、ここでは、まっすぐ縫うためのポイントを身に付け、直線縫いの技能を習得させるようにした。

そこで、本時は、まっすぐ縫うためのこつを見つけ、実際に意識して試作しながら、作品の直線部分を縫う活動であるが、評価については、様々な場面で活動・評価・指導を繰り返し、より確かな技能の習得を図った。

個人で取り組む場面 製作の態度

- ・まっすぐ縫うためのポイントを理解して取り組んでいるかどうか、教師が机間巡視を行いながら評価を行う。

ペアで見合う場面 児童の相互評価

- ・4つのポイントに気を付けながら直線をまっすぐに縫えているかどうか、ペアで見合い、アドバイスしながら、評価を行う。

学習を振り返る場面 児童の自己評価

- ・4つのポイントに気を付けて、まっすぐに縫えたかどうか、自己評価を行う。

の場面で、4つのポイントを意識しながら直線をまっすぐに縫えた児童については、「B おおむね満足できる」状況と判断する。また、の場面では、児童の個々の尺度により違いがあるので、自己評価した理由を含めて考え、4つのポイントに気を付けてまっすぐに縫えたという児童は、「B おおむね満足できる」と判断する。そして、の評価を総合して最終的な評価とした。

なお、本時は、直線縫いの技能の基礎・基本であり、「A 十分満足できる」状況については、次時以降の製作（本縫い）の授業で、各自の生活に役立つ物の製作において、4つのポイントを理解しながらまっすぐ縫うことができた時、基礎・基本の技能が確実に定着したと考え、製作過程や作品のできばえを評価するものとする。

#### 【判断した児童の状況例】

児童Aの評価...「B おおむね満足」

の場面では、直線縫いがうまくいかないことから、4つのポイントを振り返り、何が問題か、その原因（自分の座る位置が真正面でない）に気づき、それを改善しながら直線縫いに取り組み、まっすぐ縫うことができた。また、の場面でも、4つのポイントを理解して、まっすぐに縫えていたため、おおむね満足と判断した。

### (3) 個に応じた指導の実際

#### 児童Bへの指導の実際について

##### 児童Bの実態

- ・一つ一つのことを理解するまでに時間がかかる。何度も繰り返すことで理解していく。
- ・活動に対しての意欲は旺盛であるが、反面十分理解しないうちに活動をしてしまったり、作業が雑になり、丁寧さに欠けてしまったりすることがある。
- ・自分から積極的に、友達にかかわっていくことが苦手である。

#### 個人で取り組む場面（4つのポイントをつかみ、まっすぐ縫いに挑戦する場面）

ミシンを操作する前に教師が個別指導にあたり、「4つのポイント」は何か尋ね、ポイントをもう一度確認して理解させた。Bさんは、4つのポイントの全部は理解しておらず、2つのポイントを忘れていたが、板書を示しながら教師が声をかけることによって、ポイントを理解することができた。

また、ミシン操作を始めるときには、一つ一つのポイントが実行できるように、「座る位置はどうだった。」「自分の座っている位置は大丈夫かな。」「手はどこに置くんだった。」などと教師が声かけをして、本人に4つのポイントが意識できるようにした。そして、最初に縫う線を見届け、教師がポイントについて本人に確認し、自己評価させながら価値付けを行った。Bさんは、4つのポイントを繰り返し確認することでしっかり理解することができた。そのため、最初のまっすぐ縫いは、定規で線を引いてやったかのようにまっすぐ縫うことができた。

この後の練習縫いの時に、ポイントを大切にしながら一人で縫えるように、全員の前で「Bさん、こんなにまっすぐの線を縫うことができたよ。」と価値付けした。作業面で丁寧さに欠けることがあるBさんは、全員の前で認められ、仲間から賞賛されたことにより、まっすぐ縫うことに対してとても意欲的になり、その後も4つのポイントを意識しながらミシン縫いを行うことができた。

#### ペアで見合う場面（相互評価させる場面）

Bさんは、積極的にかかわっていくことが苦手なため、ペアに対する適切な評価をさせ、それを価値付けできるように、見合う場面では教師がそばについた。ペアの子をしっかり評価するために、もう一度4つのポイントを振り返り、「ポイントの1つ目は何だったかな。」と、ペアで評価・確認しなくてはいけないことを再度押さえた。そして、相手の様子を見ているときに、「ポイントの1つ目はどうかな。」と声かけをし、評価をさせた。

また、ペアの子のミシン縫いが終わったときに、「4つのポイントについてできていたかどうか話してあげて。」と声かけをし、Bさんが話しやすい状況を設定した。それにより、Bさんはペアの児童に対して、「どのポイントもしっかりできていてよかったよ。」と評価することができた。

#### まっすぐ縫うコツを生かして生活に役立つ物を直線で縫う場面

少し油断すると作業の丁寧さが欠けるため、自分の布を縫う前に、全員で4つのポイントを押さえた後に、Bさんにはもう一度4つのポイントを確認させた。繰り返しポイントを押さえることにより、Bさんはまっすぐ縫うためのポイントを理解し、さらにまっすぐ縫おうとする意欲が高まり、慎重に自分の布のミシン縫いをすることができた。

## 「ミシンに挑戦しよう！」の授業にかかわって（お願い）

彼岸を過ぎめっきり寒くなりましたが、いかがお過ごしでしょうか。先日は運動会へのご参加ありがとうございました。また、日頃の教育活動に対するご理解ご協力にも感謝申し上げます。

さて、来週より家庭科の学習で「ミシンに挑戦しよう！～生活に役立つ物を作ろう～」の学習が始まります。そこで、下記のことをお願いしたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いします。

### 1 製作物の決定

子ども達は、生活に役立つ物を作り、家族のみんなが活用することによって、製作に対する喜びをもち、さらなる意欲につなげることができると思います。そこで、ご家庭の中で活用する物（家族みんなが使える物）で、ミシンの直線縫いを使って製作できる物をお考えいただきたいと思います。子ども達が製作物について尋ねますので、その時に「こういう物がほしい」「こういうものがあつたらいいな」とお話ししていただけたらと思います。

#### 製作物の例

- |                    |            |
|--------------------|------------|
| ・ランチョンマット          | ・玄関マット（薄手） |
| ・トイレトペーパーホルダー      | ・テーブルセンター  |
| ・ウォールポケット          | ・花瓶敷き      |
| ・パソコン・電話・FAX等のカバー  | ・なべ敷き      |
| ・カラーボックスなどの目隠しカーテン | ・なべつかみ など  |

### 2 製作物の布の用意

生活に役立つ物の製作にあたり、布のご用意をお願いしたいと思います。布は、ご家庭で不用になった物でも新しく購入してくださった物でも結構です。ご多用の中かと思いますが、月日までにご準備をお願いします。

また、布は子ども達と一緒に選んでいただけたらと思っています。



ミシンに挑戦しよう！

名前（ ）

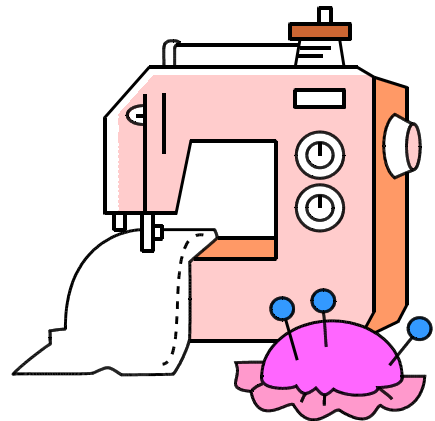
## ミシンぬいの秘密をさくろう！

家庭の中で，ミシンぬいはどんなところに使われているか調べてみよう

使われている物や使われているところ

ミシンぬいの秘密をさぐってみよう

まとめ



自己評価

ミシンぬいの秘密はわかりましたか（ ）

〔感想〕

わが家のミシンを見てみよう！

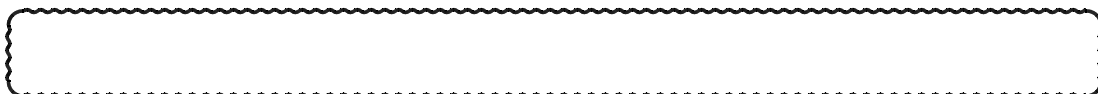
参考資料3 「第2～4時 ミシンの基本操作チェック表」  
ミシンに挑戦しよう！

名前 ( )

## ミシンの使い方をおぼえよう！

できたところに をうとう。2回目は、台ふき縫いの時にチェックしよう。

チ ャ ッ ク 項 目		1回目	2回目
出し しま かい 方	ふたを取る / ふたをかぶせる。		
	コントローラーのコードをミシンにつなぐ。		
	プラグを持ってコンセントにさす / プラグを持ってコンセントをぬく。		
	電源を入れる / 電源を切る。		
動か かす	コントローラーを静かにふんで、速度を調節する。		
	速さメモリで、速度を調節する。		
	同じ強さ（速さ）でふむ。		
	ゆっくり静かに止める。 スタート・ストップをする。		
か ら ぬ い	針の平らな面の向きに注意して、針を正しくつける。		
	ぬい始めの位置に針をさす。		
	おさえをおろしてぬう。		
	ぬい目の大きさを変えてぬう。		
	かどで方向を変えてぬう。 返しぬいをする。		
直 線 ぬ い	ボビンに下糸をまく。		
	水平がまにボビンを入れる。		
	みぞに糸をかける。		
	下糸を15cmくらい出しておく。		
	上糸をかける。		
	下糸を出し、上糸と下糸をそろえる。		
	ぬい始めに針をさし、おさえをおろして直線ぬいをする。		
	かどで方向を変えてぬう。		
	上糸の調節をする。		
	ぬい目の大きさを変えてぬう。 ぬい始めとぬい終わりの、糸の始末をする。（返しぬい・上下の糸を結ぶ）		



参考資料4 「第5～10時 作品製作計画・製作記録」  
ミシンに挑戦しよう！

名前（ ）

生活に役立つ物を作ろう！

製作する物

選んだわけ

完成イメージ図（形・大きさを記入しよう）

製作に対する願い

時	製作手順	製作に必要な物	本日の原稿い	自己評価
6	型紙を作る。 布を裁つ。 しるしをつける。			
7	布はしを始末する。			
8				
9				
10				
11	作品を仕上げる。			

自己評価    よくできた    できた    あまりできなかった

参考資料5 「第11時 作品づくりの振り返り」  
ミシンに挑戦しよう！

名前（ ）

## 生活に役立つ物を製作しよう！

### 【作品作りを振り返って】

写真

#### 自己評価

( よくできた    できた    あまりできなかった )

項目	評価
意欲をもって、作品作りができた。	
製作用具が安全に使えた。	
製作順序がわかって、作品作りができた。	
ミシンの使い方がわかって、直線縫いができた。	
なっとくのいく作品ができた。	

感想

-----

-----

-----

-----

お家の方から

先生から



参考資料6 「題材の評価総括表」 ミシンを使ってみよう！

題材の評価規準		単位時間における具体的評価	時	OS	NA	NS	YA	YY	HY										
ア 関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	・ 製作物を通して、家族との触れ合いをもとうとしている。	家庭生活での布の活用について見直し、ミシン縫いのよさについて関心もち、進んで調べたり試したりしている。	1	B	B	B	B	B	B										
		生活に役立つ物を布を用いて製作することに関心をもっている。	6	B	/	B	B	B	B										
	・ 製作する楽しさや活用する喜びを味わおうとしている。			7															
				8															
				9															
				10															
				11															
	<b>観点ごとの総括</b>																		
	イ 創 意 ・ 工 夫	・ 家庭生活での布の活用を見直し、製作物、大きさ、形、材料、ミシンの縫い方を考えたり、自分なりに工夫したりしている。	家庭生活での布の活用について見直し、製作物の大きさや形、材料、はしの始末の仕方、ミシンの縫い方を工夫することができる。	6	B	/	B	B	B	C									
			ミシンでの直線の縫い方を工夫することができる。	9															
		<b>観点ごとの総括</b>																	
ウ 生 活 の 技 能		・ 製作物を活用しながら家族との触れ合いをもつことができる。	家庭生活での布の活用について見つけ、製作物を選ぶことができる。	5	B	B	B	B	B	C									
	布を用いて製作する物の製作計画を立てることができる。		5	B	B	B	B	B	C										
	・ 布を用いて製作する物の製作計画を立てることができる。	ミシンを用いて、直線縫いをすることができる。		8															
											・ ミシンの直線縫いを用いて、生活に役立つ物を作ることができる。	裁縫道具、ミシン、アイロンの正しい取り扱い方ができる。		6	B	/	B	B	B
	7																		
	8																		
	9																		
	・ 製作に必要な用具を安全に取り扱うことができる。			10															
											<b>観点ごとの総括</b>								
	エ 工 知 識 ・ 理 解	・ 製作物を通して、家族との触れ合いを理解している。	ミシンの仕組み、上糸のかけ方、下糸の入れ方、糸調節の仕方などを理解している。	23	B	B	B	B	B	C									
4				B	B	B	B	B	C										
9																			
・ 製作に必要な材料や用具がわかり、製作手順や時間の見通しを理解している。		製作に必要な材料や用具、製作手順を理解している。		6	B	/	B	B	B	C									
											7								
											8								
											9								
・ ミシンの使い方、直線縫いの仕方を理解している。				10															
											・ 製作に必要な用具の安全な取り扱い方を理解している。	裁縫道具、ミシン、アイロンの正しい取り扱い方を理解している。	6	B	/	B	B	B	B
8																			
9																			
10																			
<b>観点ごとの総括</b>																			
		製作物を通して、家族との触れ合いがもてることを理解している。	11																
										<b>観点ごとの総括</b>									

参考資料7 「単位時間の評価表」

ミシンに挑戦しよう！ (第1時)

<p>具体の 評価規 準</p>	<p>ア - 家庭生活での布の活用について見直し，ミシン縫いのよさについて関心をもち，進んで調べたり 試したりしている</p>					
<p>評価 方法</p>	<p>学習プリント (取材の様子) ・家庭の中のミ シン縫いが使 用されている 物が記入され ている。</p>	<p>(発言の様子) ・調べてきたこ とを進んで発 表している。</p>	<p>学習態度 ・ミシンのぬい はばやスピー ドを変えたり， 返し縫いをし たりしながら， 運針している。</p>	<p>発言 ・ミシンのよさ 秘密 を発表 している。</p>	<p>学習プリン (感想の内容) ・本時の学習 について， まとめてあ る。</p>	<p>本 時 の 総 括</p>
<p>Aの具 体的な 状況</p>	<p>A 家庭の中のミシ ン縫いが5箇所 以上記入され， そこからわかっ たこともまとめ てある。</p>	<p>A 自分と友達の発 言を比べながら 聴き，発言から 新しい発見があ る。</p>	<p>A 自分から進んで いろいろな運針 に挑戦し，ミシ ンの楽しさを味 わっている。</p>	<p>A 意欲的にミシン のよさをいくつ も発表している。</p>	<p>A 本時の学習に ついて，ミシ ンのよさや今 後の学習に対 する意欲が記 入してある。</p>	
<p>Cの指 導の手 だて</p>	<p>C 自分の身の回り の物に目を向け させる。</p>	<p>C 自分の身の回り の物に目を向け させ，見つけた 物を発表するよ う促す。</p>	<p>C ぬい幅やスピー ドの変更や返し 縫いなどミシン の操作について 助言し，自分で 運針するよう促 す。</p>	<p>C 友達の発言を聴 いての自分の意 見を発表するよ う助言したり， 友達の発言を問 い返したりする よう促す。</p>	<p>C 本時の学習内 容の振り返り をさせ，そこ から感じるこ とを記入する よう助言する。</p>	
O.S						
N.A						
N.S						
Y.A						
Y.Y						
H.Y						